

☑北九州市の低炭素社会へ向けた 取組と課題

北九州市の温室効果ガス排出量

北九州市の温室効果ガス排出量（部門別）

単位：千トン - CO₂

区 分		1990年度 (平成2) 京都議定書 基準年	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	前年度比 (平成19)	1990年度比 (平成2)
二 酸 化 炭 素	家庭(暮らし)部門	943	1,039	939	968	960	△0.8%	+1.8%
	業 務 部 門	669	1,186	1,252	1,362	1,311	△3.7%	+96.0%
	運 輸 部 門	1,419	1,751	1,772	1,751	1,721	△1.7%	+21.3%
	産 業 部 門	9,808	10,717	10,788	11,481	10,591	△7.8%	+8.0%
	エネルギー転換部門	347	246	243	245	241	△1.6%	△30.5%
	工 業 プ ロ セ ス	1,757	695	983	1,010	908	△10.1%	△48.3%
	廃 棄 物	252	542	545	417	410	△1.7%	+62.7%
二 酸 化 炭 素 合 計		15,195	16,176	16,522	17,234	16,142	△6.3%	+6.2%
メ タ ン		23	21	21	20	20	0.0%	△13.0%
一 酸 化 二 窒 素		44	41	41	39	38	△2.6%	△13.6%
フ ロ ン ガ ス 等		598	98	106	111	115	3.6%	△80.8%
温 室 効 果 ガ ス 合 計		15,860	16,336	16,690	17,404	16,315	△6.3%	+2.9%

北九州グリーンフロンティアプラン

世代を越えて豊かさを蓄積していく「ストック型社会」

市民の環境への想いと絆 ➡ 低炭素社会づくり ◀ 新しい価値観、文化の創造

地球温暖化問題の解決

都市活力の増大

アジアの発展・交流

CO₂削減目標（2050年）北九州市域： 50%

（現在の排出量:1,560万ト/年） アジア地域： 150%相当

取組方針と5年間の取組

環境が
先進の街を
創る

環境が
経済を
拓く

環境が
人を
育む

環境が
豊かな生活を
支える

環境が
アジアの絆を
深める

中心市街地の低炭素化



勝山橋太陽光ルーフ

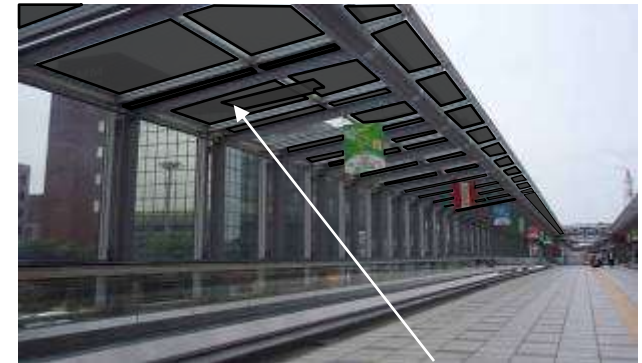


魚町ジョイントアーケード



太陽光発電ルーフ

南北口ペデストリアンデッキ (イメージ)



太陽光パネル

城野ゼロカーボン先進街区

①Aゾーン

地区北側のUR城野団地及び市営住宅においては、高齢者から子育て世帯までが安心して暮らせる住環境の形成を図ります。

②Bゾーン

地区中央部において、既存樹木や池を活かし、緑の拠点・クールスポットとしてエコパークを整備し、潤いのある憩いの空間の創出を図ります。

③Cゾーン

JR城野駅、国道10号を中心とする交通結節点を「地区の顔」として位置づけ、地区を訪れる人々がゼロ・カーボン先進街区のまちづくりが感じられる都市機能・空間の整備を図ります。

④Dゾーン

地区中央部は、住宅間・街区全体におけるゼロ・カーボンを実現する住宅機能を誘導し、快適で住みよい戸建住宅を中心とした良好な住宅地を目指します。

⑤Eゾーン

地区を南北に結ぶ導線は、歩いて暮らせるまちづくりの基軸としてまちの背骨(骨格軸)と位置づけ、歩行者・自転車が安全・快適に通行できる空間として整備し、JRやバスの利用促進を図ります。また、楽しくて、歩きたくなる道となるよう、公園までの沿道建物の低層階に店舗を誘導するなど賑わいを創出します。

⑥Fゾーン

地区南側においては、JR城野駅や国道10号に近接性を活かして高度利用を図り、周辺環境に配慮しながら中高層の集合住宅、物販・飲食店、医療施設や介護・福祉施設等の生活支援サービス施設の立地を誘導します。



ゾーニング図

浄化センター

日明浄化センター



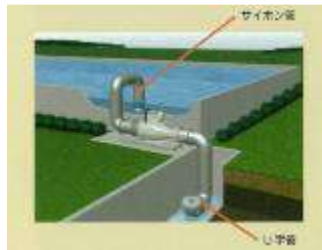
消化ガス発電

年間発電量 752千kwh
Co2削減量 290ton
(平成23年度～)



小水力発電

年間発電量 16千kwh
Co2削減量 6ton
(平成24年度～)



小風力発電

年間発電量 5千kwh
Co2削減量 2ton
(平成23年度～)



運転管理の工夫 (攪拌機の間欠運転など)

年間削減電力量 2,475千kwh
Co2削減量 960ton
※全施設合計分
(平成20年度から実施中)

汚泥燃料化 (石炭代替燃料として使用)

年間生産量 6,300ton
Co2削減量 2,800ton
(事業としては 12,800ton)
(平成27年度～)



太陽光発電

年間発電量 1,000千kwh
Co2削減量 390ton
※4処理場合合計分
(平成23年度～)



LED照明の採用

年間削減電力量 714千kwh
Co2削減量 280ton
※全施設合計分
(平成23年度～)



日本コークス工業(株) CDQ

コークス乾式消火 (Coke Dry Quenching)



蒸し焼きされた赤熱コークスを、従来の水ではなく循環ガスで消火する設備です。コークスの品質を均一化させると同時にこれまでは湿式消化により水蒸気として廃棄していた熱量を電力に変換して回収することができます。また、環境面においてもCO₂ガス排出量の削減や粉塵対策などに大きく寄与しております。

発電した電力はコークス生産および化成品製造等に使う自家電力として消費され余剰電力については売電しています。ゆくゆくは、国際物流特区である響灘地区におけるエネルギー供給基地として発展していくことを期しております。

中小企業省エネ設備導入促進事業補助金

1 補助対象事業

構造躯体(外皮)、建築設備の省エネルギーに寄与するものを対象とします。
ただし、生産設備に関するものは対象外です。

【省エネ設備の例】

空調・換気設備	省エネ型空調設備、全熱交換器
照明設備	高効率照明、LED照明、高輝度誘導灯
ボイラー設備	高効率ボイラー、高効率温水ボイラー
コージェネレーションシステム	エネファーム、エコウィル
高効率給湯器	エコキュート、高効率ヒートポンプ
電気使用設備	高効率トランス、インバーター
断熱・遮熱	二重サッシ、断熱材、遮熱塗料
節水設備	節水型便器、擬音装置

【新エネ設備の例】

太陽利用による発電設備	太陽光発電設備、太陽熱発電設備
風力利用による発電設備	小型風力発電設備

※交付決定前に着手(契約・発注等)した事業は対象となりません。

北九州市環境産業融資

新エネルギーの普及拡大、省エネルギーの推進を図るため、環境・エネルギーに関する設備投資を行う企業等に対し、必要な資金を融資します。

融資対象事業	利率(%)	返済期間	融資限度額
(1) 環境・エネルギーに関する リーディングプロジェクトへの融資	0.90	5年以内	10億円
	1.25	10年以内	
	1.65	15年以内	
(2) 新エネルギー・省エネルギー 設備導入への融資	1.20	5年以内	1億円
	1.40	10年以内	
(3) 電気自動車など 環境配慮型製品購入のための融資	1.20	5年以内	1千万円
	1.40	10年以内	

中小企業省エネ設備導入促進事業補助金 7月4日より受付開始！

環境産業融資(クリーンエネルギー融資) 10月1日より受付開始！

若松区・響灘地区

- 北九州エコタウン(循環型社会の形成、環境産業の振興)
- 次世代エネルギーパーク(地球温暖化防止のための次世代エネルギーの総合的開発、展示)
- 響灘・鳥がさえずる緑の回廊、日本最大級のビオトープ(都市と自然の共生、人や生物の潤いや憩いの空間)



北九州エコタウン



実証研究エリア



総合環境コンビナート・響リサイクル団地

概要：研究施設数: 15、事業者施設数: 26

事業成果: 環境保全と経済開発

環境: 環境負荷の削減、省資源・省エネルギー（CO₂：38万トン削減効果）

経済: 投資額 約600億円、従業員数: 約1,300人、視察者数：約84万人（～2010年3月）



北九州エコエナジー（株）

複合中核施設

北九州エコタウンのゼロエミッション化

エコタウンで発生する廃棄物等を
サーマルリサイクルし、
エコタウン企業へ電力として供給

☑ 「対策」から「創造」へ

北九州エコライフステージ

市民・NPOや事業者等の日頃の環境活動の交流・発信



2日間で15万人の参加